

製品安全データシート

ファイアジェントパック燃料（着火剤）
整理番号：0151800-0 頁 1/6
作成日：2013年06月03日
最新改定日：2013年06月03日

1.製品名及び会社情報

製品名 : ファイアジェントパック燃料（着火剤） 30g×10個組
製品コード : 0151800-0
用途 : アウトドア用携帯着火剤

会社名 : パール金属株式会社
住所 : 新潟県三条市五明 190 番地
担当(作成)部署 : アウトドア品質管理部
電話番号 : 0256-35-3117
ファックス番号 : 0256-31-1301

2.危険有害性の要約

GHS 分類

製品

眼に対する重篤な損傷 / 眼刺激性	区分 2A
生殖毒性	区分 1A
特定臓器 / 中枢神経系（単回暴露）	区分 1
特定臓器 / 呼吸器（単回暴露）	区分 1
特定臓器 / 呼吸器系（単回暴露）	区分 3（気道刺激性、 麻酔作用）
特定臓器 / 心臓（単回暴露）	区分 1
特定臓器 / 腎臓（単回暴露）	区分 1
特定臓器 / 中枢神経系（反復暴露）	区分 1
特定臓器 / 呼吸器（反復暴露）	区分 1
特定臓器 / 心臓（反復暴露）	区分 1

フィルム

分類基準に該当しない

上記に記載のない危険有害性項目は、分類対象外か分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル

製品



フィルム

なし

製品安全データシート

ファイアジェントパック燃料(着火剤)
整理番号:0151800-0 頁 2/6
作成日:2013年06月03日
最新改定日:2013年06月03日

製品に関する情報

注意喚起語

: 危険

危険有害情報

: 重篤な眼への刺激性

: 気道への刺激のおそれ

: 眠気又はめまいのおそれ

: 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

: 臓器の障害

: 長期または反復暴露による臓器の障害

注意書き

: 医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルを持っていくこと。

: 子供の手の届かないところに置くこと。

【安全対策】

: 使用前にラベルをよく読むこと。

: 使用前に取扱説明書を入手すること。

: 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

: 容器を密閉しておくこと。

: 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

: 取扱い後は手をよく洗うこと。

: この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

: 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

: 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

: 吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときには医師に連絡すること。

: 眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。医師の診断/手当てを受けること。

: 眼の刺激が続く場合

医師の診断/手当てを受けること。

: 暴露又は暴露の懸念がある場合

医師に連絡すること。特別な処置が必要である。

【保管(貯蔵)】

: 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

: 施錠して保管すること。

【廃棄】

: 国、都道府県又は市町村の規則に従うこと。

製品安全データシート

ファイアジェントパック燃料(着火剤)
整理番号:0151800-0 頁 3/6
作成日:2013年06月03日
最新改定日:2013年06月03日

容器・フィルムに関する情報

注意喚起語 : なし
危険有害性情報 : なし
注意書き : 可燃性物質であるが、通常の状態では危険な反応や火災爆発を起こすことはない。

3.組成及び成分情報

製品の単一製品又は混合物の区別 : 混合物

成分	含有量	官報公示 整理番号	CAS 番号
メタノール	80 % 以上	(2)-201	67-56-1
グリコール類	10 % 以上	非公開	非公開
増粘剤	0.8 % 以上	非公開	非公開
紫外線吸収剤	0.05 % 以上	非公開	非公開
中和剤	0.5 % 以上	非公開	非公開

フィルムの単一製品又は混合物の区別 : 混合物

成分	含有量	官報公示 整理番号	CAS 番号
ポリプロピレン	非公開	(6)-402	9003-07-0
着火剤	非公開	非公開	非公開
添加剤	非公開	非公開	非公開

4.応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移し、安静保温につとめ、医師の手当てを受けること。
目に入った場合 : 多量の水で十分時間をかけて洗い流し、医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合 : 大量の水を飲ませて、速やかに医師の診断を受けること。
医師に対する特別注意事項 : 本製品又は本 MSDS を提示すること。

5.火災時の措置

消火剤 : 泡消火器、水の噴霧、粉末、炭酸ガス、耐アルコール泡消火器。
消火方法 : 泡消火器、水の噴霧、粉末、炭酸ガス、耐アルコール泡消火器に

よる。可燃性のものは周囲から素早く取り除き、消火活動は風上から行う。

6.漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 作業の際には適切な保護手袋を着用し、風下で作業をしない。
- 環境に対する注意事項 : 地下浸透、河川、湖沼及び海に大量に排出しない。
- 除去方法 : できる限り空容器等に回収する。回収しきれないものは大量の水で洗い流し、適切な廃棄処理を行う。
- 二次災害の防止 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除き、消火器を準備してから作業すること。空容器の回収には火花を発生しない安全なシャベル等を用いること。

7.取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い : 火気・衝撃火花などによる着火源を生じないように注意する。
- 保管 : 直射日光、高温となる場所を避け、冷暗所に保管する。

8.暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 屋内作業の場合には、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備にする。
- : 作業場所に緊急時のシャワー及び洗眼の装置を取り付け、その位置を明瞭に表示する。
- 管理濃度 : 200 ppm (労働安全衛生法; 主成分のメタノールに準拠)
- 許容濃度 : 200 ppm (日本産業衛生学会; 主成分のメタノールに準拠)
- 保護具 : 保護眼鏡 ゴーグル型
- : 保護手袋 ビニールまたはゴム製
- : 保護衣 保護衣、ゴム長靴

9.物理的及び科学的性質

- 物理的状态 : 半透明ゲル
- 爆発限界 : 6.0 ~ 36.0 vol% (主成分のメタノールに準拠)
- 比重(相対密度) : 0.92

製品安全データシート

ファイアジェントパック燃料(着火剤)
整理番号:0151800-0 頁 5/6
作成日:2013年06月03日
最新改定日:2013年06月03日

溶解性 : 水 可溶
メタノール 可溶
引火点 : 14

10.安定性及び反応性

可燃性 : 引火しやすい
酸化性 : なし
自己反応性・爆発性 : なし
安定性・反応性 : 単独では常温、常圧下で安定である

11.有害性情報

ヒトへの健康影響

急性毒性 : LDLO(経口) 428 mg/kg (主成分のメタノールに準拠)
TCLO(吸入) 86,000 mg/m³ (主成分のメタノールに準拠)
一般毒性 : 知見なし

動物への健康影響

急性毒性 : 経口 LD₅₀(ラット) 13,000 mg/kg (主成分のメタノールに準拠)
LD₅₀(マウス) 7,300mg/kg (主成分のメタノールに準拠)
: 目 激しい痛みを感じ、結膜や角膜が侵される。
: 皮膚 刺激がある。

癌原性 : 知見なし

12.環境影響情報

生分解性 : 知見なし
生態影響 : 知見なし

13.廃棄上の注意

- ・ 取扱い及び保管上の注意、引火性の強い固体に関する一般的な注意事項による。
- ・ 消防法などの法令、地方自治体の基準の定めるところに従う。

製品安全データシート

ファイアジェントパック燃料（着火剤）
整理番号：0151800-0 頁 6/6
作成日：2013年06月03日
最新改定日：2013年06月03日

14.輸送上の注意

国連分類 : クラス 4.1（可燃性固体・毒性）
国連番号 : 2926
陸上輸送 : 高温多湿、直射日光下での輸送を避け、容器を破損しないよう注意する。取扱い及び保管上の注意による他、引火性の強い固体に関する一般的な注意事項による。その他、消防法などの法令に定めるところに従う。

15.適用法令

消防法・危険物 : 危険物 第2類 引火性固体 危険等級[]
毒劇物取締法 : 非該当
化学物質管理促進法 : 非該当
労働安全衛生法 : 第二種有機溶剤等（施行令別表第6の2、有機溶剤中毒防止規則第1項第4号）
: 危険物・引火性の物（施行令別表第1項第4号）
: 名称等を表示すべき危険物及び有害物
（法第57条1、施行令第18条）
（法第57条2、施行令第18条の2別表第9）

16.その他の情報

改訂履歴 2013年06月03日 初版

記載内容の取り扱い

- ・全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかも知れません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合には、出典等を良く検討されるか試験によって確かめられることをお勧めします。
- ・記載のデータや評価に関してはいかなる保障もなすものではありません。また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。製品の譲渡時にはMSDSを添付してください。
- ・本品の適正な使用については使用者の責任において行って下さい。また随時内容の見直しを行い、改訂版を発行することがございます。

以上